

3月11日から半年を過ぎた。この間、本誌は「東日本大震災とメディア」をテーマに、6月号(5月1日発売)から連続して特集してきた。各号の特集構成を下段にまとめた。

なお、本号の構成は以下の通り。

- 世界最大の気象情報会社ウェザーニューズが見た3・11
- 3月20日に立ち上げた「いわて災害医療支援ネットワークセンター」
- 「そのとき、メディアと記者はどう動いたか」
(日本映画テレビ技術協会・震災関連セミナー) から

- 6月号
- 巻頭インタビュー 元総務大臣、前岩手県知事 増田寛也氏に聞く
「被災地救済へ2つの緊急対策を提言」
 - 大災害時に信頼たる情報機関NHKの英断
デジタルサービスの取り組み+ NHKワールドTV
 - 東北3県メディア事業者の被災と対応
 - ① テレビ放送、ラジオ放送
 - ② ケーブルテレビ局
 - ③ 地方新聞
 - 障がい者と被災情報
 - メディア新たな取り組み
 - ① Twitter ユーザーが展開した大震災発生時の“情報戦”
 - ② Ustream、ニコニコ動画とテレビ局の挑戦
 - ③ Brightcove、Google、Yahoo!の取り組み



©岩手朝日テレビ

- 7月号
- NHK「東日本大震災ロジスティクスプロジェクト」の奮闘
 - インタビュー 元自衛官の異色慶大教授・武田圭史氏に聞く
災害時に必須とされる「情報の一元化」体制を深めるために
 - 震災特番 (NHK、民放キー4局) 立ち上がり60分の内容構成
 - フジテレビが最新ニュース制作システム「F-BINUS」で82時間ノンストップ特番を放送
 - 東北3県の完全デジタル移行延期「果たしてアナログ用中継局機材は大丈夫か」

- 8月号
- 特別対談 元総務大臣 増田寛也氏×iSP代表理事 会津泉氏
「信頼できる情報とは、有事にも強い情報システムとは」
 - 大災害発生とパブリックビューイング「街頭メディアの“役割”と“備え”を考える」
 - インタビュー TBSテレビ 星野誠取締役・報道局長
「JNNが三陸臨時支局を開設」
 - 編集長レポート 放射能と風評に翻弄される福島・いわき市
「地元メディアは何を伝えたか」
 - NHK震災報道の生字幕対応
「生字幕開始は地震発生後23分後から迅速対応」
 - 災害発生時のコミチャン対応 ジャパンケーブルネット (JCN)
番組制作不能となったグループ被災局に代わりセンター配信システムで他局対応

- 9月号
- 岩手、宮城、福島 被災3県 テレビ民放全12局現地取材①
 - ① 社長たちの震災初動と現在の考え
 - ② 未曾有の震災報道を経験して
 - 現地取材レポート 被災地・気仙沼に“定住”取材するJNN三陸臨時支局
 - 臨時災害放送局 (FM) の開局支援でNHKアイテックが貢献
 - ミハル通信「放送局向け緊急バックアップシステム」

- 10月号
- 岩手、宮城、福島 被災3県 テレビ民放全12局現地取材②
災害に強い放送局づくりへ経験と教訓

東

日本大震災が発生した直後の映像情報は、放送局を含め極めて少ない。それを埋めるものはあるのか。混乱するその時の記録をどう残すのか。その問いに答えるかのように、ウェザーニューズでは、ウェザーリポートの会員であるウェザーリポーターたちがその時の様子を全国からリポートしている。集まった情報をカテゴリごとに時系列に見ると、刻々と変化する全体像が浮かび上がる。この貴重なデータは無料で一般公開され、誰もがデータをダウンロードすることができる。ウェザーニューズの3・11の取り組みについて、株式会社ウェザーニューズの石橋知博取締役聞いた。(文：古山智恵・本誌編集部)

今、その瞬間を記録する

東北地方太平洋沖にM9.0の地震が発生した3月11日14時46分、株式会社ウェザーニューズの石橋知博取締役は経営会議を終え、昼食をとろうと駅前の歩道橋を歩いていた。同社がサービスする緊急地震速報「The Last 10-Second」がiPhoneに入ってすぐに揺れが来た。周囲のビルの揺れや道路の液状化に尋常ではないと感じ、すぐに会社に引き返したという。

「スタジオは運営できるか、サーバは停止していないか、報道するスタッフはいるかなどを確認し、情報収集に努めました。サーバは安定していたので、サイトを全面減災モードにしました。テレビの画面では、同じ映像素材が繰り返し流されていました」。そこで、自分たちができることは何かを考えたという。

「2005年からサービス(有料)を開始している『ウェザーリポート』には、全国に30万を超える会員がいます。われわれの強みはこの会員が上げてくるローカル情報です。“ありのままの今”を伝えようと、会員に減災リポートをお願いすると、ものすごい数のリポートが集まり、3月11日から16日までに寄せられた情報は約4万件に達していました」

こうして集まったリポートをグーグルマップ上にマッピングしていった。公開はユーザーのネットワーク環境を考慮して、まずPCから。しかし、あまりにもたくさんの情報が集まったので、何の情報かわかりづらくなりはじめた。そこで、「社員20名ぐらいで、リポートすべてにタグ付